茨 建 協

2023/7

No. 648



茨城県の近代化遺産

旧水海道小学校玄関

水戸市緑町2

明治初期に建設された、いわゆる「擬洋風建築」と呼ばれる様式による学校建築。木造2階建て、寄棟桟瓦葺きの 建物で、正面中央に張り出した玄関ポーチと2階バルコニーの柱や軒下部分に和洋混用した意匠を用い、屋上には一 段高く、帽子のような独特の屋根を被せた八角形の鼓楼が聳(そび)え立つ。外壁は下見板貼りで、窓は上げ下げ 窓、一部にステンドグラスを使用するなど、西洋風を強調する意匠となっている。この建物は、明治14年に町民有志 の寄付金をもとに建設され、設計・施工は地元水海道 (現在の常総市) の宮大工・羽田甚蔵。この建物を建てるため 羽田自ら横浜まで赴き、洋風建築の技法を学んだと伝えられている。もとは水海道市栄町にあったが、昭和48年に茨 城県立歴史館敷地内に移築・復元された。 [出典: 茨城県近代化遺産 (建造物等) 総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

- ▼ チャリティーゴルフ大会を開催
- ▼ 佐々木氏、高橋氏が国土交通大臣表彰
- ▼ 働き方改革へ関係団体と意見交換
- ▼ 各支部が講習会や献血活動

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を 掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)を さらに徹底します

発 行 一般社団法人 茨城県建設業協会

₹ 310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電 話 029-221-5126 (代)

H P http://www.ibaken.or.jp/

集 日本工業経済新聞社·水戸支局

善恵奇付金を贈呈

第8回支部対抗チャリティーゴルフ大会

本会は7月3日、第8回支部対抗チャリティーゴルフ大会を常陸大宮市の静ヒルズカントリークラブで開 催しました。集まったチャリティー金 20 万円は茨城県アイバンクと茨城新聞文化福祉事業団に寄付。大会 は団体は常陸大宮支部が、個人は男性が増子秀典氏(常陸大宮支部)、女性は石井高子氏が優勝しました。

大会には129人(男性121人、女性8人)が参加。 新ペリア方式で競いました。

チャリティー金について石津会長は「参加され た皆さまに深く感謝申し上げる」とあいさつ。

県アイバンクの方波見正理事長は「協力協定に よって、ご協力いただいている。皆さまの善意は有 意義に使わせていただく」と感謝の意を表しました。 本会は県アイバンクと協力協定を本年5月に締結 し、献眼や角膜移植の普及啓発に協力しています。

茨城新聞社の米川勇水戸支社長代理兼営業部 長は「毎年の寄付に大変に感謝申し上げる。善意 金は福祉のために有効に使わせていただく」とあ いさつしました。



成績上位の支部と個人は次の通りです(敬称略)。

【団 体】

- ◆優勝=常陸大宮支部
- ◆準優勝=高萩支部
- ◆3位=竜ヶ崎支部

【個人 (男性)】

- ◆優勝=増子秀典(常陸大宮支部)
- ◆準優勝=福智成美(竜ヶ崎支部)
- ◆3位=菊地和幸(境支部)
- ◆4位=樋本吉和(高萩支部)
- ◆5位=端孝男(常総支部)
- ◆6位=小林信昭(太田支部)
- ◆7位=柴直樹(筑西支部)
- ◆8位=長山朋之(常陸大宮支部)



石津会長(中央)が県アイバンクの方波見理事長(左) と米川茨城新聞社水戸支社長代理(右)に寄付金を贈呈

- ◆9位=石津松吾(潮来支部)
- ◆ 10 位 = 犬塚正一(潮来支部)
- ◆ベストグロス賞=石井公彦(大子支部)

【個人(女性)】

- ◆優勝=石井高子(本部女子)
- ◆準優勝=寺田基枝(同)
- ◆3位=柳瀬香織(同)





男性優勝の増子氏

女性優勝の石井氏

佐々木元常任理事、高橋常任理事が 建設事業関係功労で国土交通大臣表彰

おめでとうございます

令和5年度の建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰として、本会からは佐々木孝夫元常任理事(竜ヶ崎支部副支部長)、高橋修一常任理事(鉾田支部副支部長)が受賞されました。まことにおめでとうございます。更なるご活躍を祈念いたします。

佐々木 孝夫(ささき・たかお)氏

佐々木氏は昭和32年生まれ、65歳。千葉県立 佐原高等学校卒業後、額賀装飾を経て、昭和60年 に常磐建設に入社。令和元年に代表取締役社長に 就任。

本会では平成24年から理事、平成30年から令和4年まで常任理事を務め、現在は理事。竜ヶ崎支部では平成26年から副支部長。本会の発展と良好な社会資本形成に貢献されています。

佐々木元常任理事の話



「受賞は協会をはじめ多くの 諸先輩方のご指導があってこ そで、ありがたく思う。建設 業は作ったものが長年にわ たってその地に残ることで、 達成感があり誇りが持てる仕事 。若い世代に誇りある仕事 ということを伝え、業界発展 に尽くしていきたい」

建産連や建築関係団体と課題解決へ意見交換会

本会が加入している茨城県建設産業団体連合会(会長・石津健光本会会長)は6月29日、県建築関連団体交流会(会長・柴和伸県建築士会会長)との意見交換会・懇親会を水戸プラザホテルで開催。本会からは正副会長・支部長が参加し、週休2日や時間外労働など、業界全体が抱えている課題の解決へ意見を交わしました。石津会長は「専門工事業と元請企業が同じ方向を向けるよう、業界全体で取り組む」とあいさつしました。

高橋 修一(たかはし・しゅういち)氏

高橋氏は昭和34年生まれ、64歳。日本大学生 産工学部土木工学科を卒業後、株木建設に勤務し、 昭和61年に高橋建設に入社。平成10年から代表 取締役社長を務めています。

本会では平成29年から鉾田支部副支部長。本 部では平成14年から理事、平成30年から本部常 任理事を務めており、本会の発展と地域社会に貢 献されています。

高橋常任理事の話



「長年従事して認められ、大変 うれしい。自分としては、賞 に値するような建設業に対す る貢献はまだ少ないと考えて いる。今後も、受賞を機に建 設産業にもっと貢献できるよ うにしっかりと取り組んでい きたい

県労働時間削減推進 協議会に参加

本会は6月23日、茨城労働局や県、専門工事業団体などと共に県建設業関係労働時間削減推進協議会に参加。令和6年4月1日からの時間外労働の上限規制適用を踏まえ、労働時間の削減への取り組みを協議しました。国土交通省関東地方整備局や県は工期の適正化等について説明。本会も取り組みを紹介しました。また建設事業者を対象とした説明会を開催することも決定。説明会は8月18日(金)に県庁9階講堂で開催されます。

働き方改革へ勉強会を

経営企画委員会



経営企画委員会(鶴田哲男委員長)は6月20日、委員会を協会本部で開催し、令和5年度の事業計画について協議しました。働き方改革に関する勉強会の開催、発注機関との意見交換、週休2日や勤怠管理、改正電子帳簿保存法への対応などを議論。鶴田委員長は「働き方改革が課題になっている。議論を重ね、より良い方向を探っていきたい」とあいさつしました。

適正施工へ県と意見交換

土木委員会



土木委員会(梅原基弘委員長)は6月26日、 茨城県土木部検査指導課(梅澤信行技術管理統括 監兼課長)との意見交換会を水戸市の茨城県建設 センターで開催。担い手の確保やICT活用工事、 建設発生土搬出先の明確化などで意見を交わしま した。梅原委員長は「小規模土工のICT施工な どに対応していく。資源有効利用促進法の周知の 徹底を心掛けていきたい」とあいさつしました。

現場技術者が県と意見交換

建築委員会



建築委員会(沢畑正剛委員長)は、委員各社の 現場技術者と茨城県営繕課・住宅課との意見交換 会を6月22日と29日に開催。週休2日制や情報 共有システム(ASP)、遠隔臨場などについて 協議しました。沢畑委員長は「建築工事の現場技 術者と県の担当者との意見交換会は初の取り組 み。問題点を共有できる有意義な場となった」と 話しています。

SDGsの活用で勉強会

人財開発委員会



人財開発委員会(高橋修一委員長)は6月23日、SDGsを経営に活用するための勉強会を水戸市の協会本部で開催。地域建設業がSDGsに取り組むことが、新たな事業パートナーの獲得などビジネスチャンスの拡大につながるだけでなく、持続可能な社会への貢献、イメージアップなど若者にとって魅力的な産業につながり、人財の採用や定着にもつながることを学びました。

安全な管理体制構築を

死亡災害ゼロ推進大会



建設業労働災害防止協会茨城県支部(石津健光 支部長)は6月29日、令和5年度の建設業「死 亡災害ゼロ」推進大会を水戸市の茨城県建設技術 研修センターで開催。労災ゼロを再確認し、大会 決議を採択しました。石津支部長は「建設業が健 全に発展していくには、若者に選ばれる職場環 境、労働災害を無くしていくことが最も重要。安 全管理体制の一層の改善・向上を」と訴えました。

女性活躍へ会員交流会

建女ひばり会



約60人が参加し交流を深めました

建女ひばり会(柳瀬香織会長)は6月16日、令和5年度の会員交流会(情報交換会)を水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸にて開催。参加した約60名は女性が定着しやすい環境づくりや女性のキャリアアップ、出産や育児等について情報交換を行い、知識を深め合いました。柳瀬会長は「交流会を通じて建設業における女性の入職や定着の促進につながれば」とあいさつしました。

現場代理人対象に スキルアップセミナー



本会は茨城県土木施工管理技士会と共に、現場 代理人を対象としたスキルアップセミナー(施工 マネジメント研修)を6月に水戸市と土浦市で開 催。参加者は技術力の向上へ、現場のコストダウ ンの考え方や実践的な進め方、簡易な施工計画、 マネジメントなどを研修しました。

課題解決へ意思疎通を

県建産連が総会



本会などで組織している茨城県建設産業団体連合会(会長・石津健光本会会長)は6月27日、令和5年度定時総会を水戸市の茨城県建設センターで開催。意見交換や情報交換を推進し、課題解決へ団体間の意思疎通を図る令和5年度事業計画を決定しました。石津会長は「業種の枠を超え、一丸となり取り組んでいく」とあいさつしました。

建設フォトコンテスト

作品を募集

本会は、街をつくる建設と人を写真で伝える「いばらき建設フォトコンテスト」の作品を募集しています。県内の風景や重機などの魅力を伝える作品を募ります。募集期間は8月31日まで。

詳細は本会ホームページに掲載しています。

支部活動報告

常陸大宮支部

CCUSの現場運用を研修



常陸大宮支部(高野潔支部長)は6月14日、建設キャリアアップシステム(CCUS)の現場運用に関する講習会を支部会館で開催。35社が出席し、CCUSの概要やメリット、申請方法、現場運用について学びました。あいさつで本会経営企画委員会の鶴田哲男委員長は「業界ではCCUSがいまだに普及されているとは言えない現状がある。今回の講習が各企業でCCUS導入の参考になればと思う」と述べました。

常陸大宮支部

安全講習で労災防止学ぶ



常陸大宮支部(髙野潔支部長)は6月27日、茨城 県常陸大宮土木事務所(柳岡隆所長)、県造園建設業 協会県北支部(平根成浩支部長)と共に草刈り安全に 関する現場技術者講習会を開催。道路除草や刈払い機 の安全について学びました。髙野支部長は「交通安全 はもちろん、刈払い機による労働災害をなくすために も講習で学んだことを有効活用していただきたい」と あいさつしました。

潮来支部

労災防止へ安全大会



潮来支部(松崎里志支部長)は6月28日、第21回 鹿行地区建設業安全大会を鹿嶋勤労文化会館で開催。 協会員など約250人が参加。安全表彰や安全標語表彰、 講話なを通し、労働災害防止への意識を高めました。 松﨑大会長は「安全衛生活動は企業や労働者にとって、 第一に取り組まなければならない。安全週間を定め、 日頃の安全衛生活動を再検証しマンネリ化を防ぎ、新 観点から安全衛生活動を展開していく」と語りました。

土浦支部

生産性向上へ県と意見交換



土浦支部(小林伸行支部長)は6月30日、茨城県 土浦土木事務所など出先4事務所と事務事業打ち合わ せ会議および意見交換会を県土浦土木事務所で開催。 完全週休2日制や情報共有システム、設計変更、電子 契約などについて意見を交わしました。小林支部長は 「6月2日に起きた冠水のような災害等にも対応でき る仕組みを作っている。今後も十分に協力していきた い」とあいさつしました。

支部活動報告

常総支部

採掘現場で代理人研修



常総支部(中川原勇支部長)は6月21日、現場代理人研修として笠間市の稲田石採掘現場を視察。中川原支部長をはじめ37人が参加しました。稲田石の採掘現場は100年続く採掘現場。採掘した稲田石は東京駅や国会議事堂の建築に使われています。中川原支部長は「間近で現場を視察することができ、貴重な体験となった」と話しました。

常総支部

相互理解へ県と意見交換



常総支部(中川原勇支部長)は6月22日、茨城県常総工事事務所(佐藤啓司所長)との意見交換会を支部会館で開催。県土木部の近況、県西水道事務所の事業概要、熱中症対策などについて報告を受けました。中川原支部長は「日ごろからご協力いただき感謝している。今回の意見交換会を有意義なものとしたい」とあいさつしました。

境支部

課題共有へ県と意見交換



境支部(新井孝支部長)は6月16日、茨城県境工事事務所との意見交換会を境工事事務所で開催。工事情報共有システムの活用や酷暑期の施工などについて意見を交わしました。新井支部長はあいさつで「ICT施工と週休2日制導入は必要不可欠であり、意見交換会の内容を支部員で共有し、理解を深めていきたい」と話しました。

境 支 部

インボイスなどで勉強会



境支部(新井孝支部長)は6月22日、インボイス制度や労働基準法改正についての勉強会を支部会館で開催し、理解を深めました。新井支部長は「ICT施工、週休2日制、残業規制、建設発生土など、対応しなければならないことが増えている。講習会を開いて一つずつクリアしていき、各社とも発展していただきたい」と話しました。

筑西支部

社会貢献で献血活動



筑西支部(小藥拓巳支部長)は6月19日、献血活動を行いました。会員企業から約50人が協力。今回が8回目で、本年度には長年の活動に対して筑西市から感謝状の贈呈を受ける予定です。小藥支部長は「献血が社会に寄与し、会員企業だけでなく地域に広がっていければ」と話しています。

常総支部

100名以上が協力



常総支部(中川原勇支部長)は6月8日、献血活動を行いました。会員の社員や近隣住民など116人が協力。献血活動は20年目で、中川原支部長は「多くの方に参加していただいている。令和2年には日本赤十字社から表彰され、社会貢献活動として続けていきたい」と話しています。

境支部

献血に協力、社会貢献



境支部(新井孝支部長)は6月2日、支部にて献血活動を行いました。会員の社員など55人が協力。毎年6月に行っており、社会貢献への寄与として続けています。日本赤十字社は「境支部をはじめ建設業協会には、コロナ禍においても毎年継続して協力いただいている」と感謝されています。

会員の動向

〈住所変更〉

▽高萩支部

茨城日鉱建設㈱

日立市宮田町1-1-33 → **日立市宮田町2-3-8**

〈代表者変更〉

▽常陸大宮支部

(株)川崎建設 川崎 升夫 → **川崎 和洋** (株)滑川土建 藤田 則子 → **藤田 敏明**

▽高萩支部

(株)千葉工務店 千葉 順→千葉 和弘

▽筑西支部

アキラ建設㈱ 志賀野明範 → 小林 圭一

知ってほしい、より安心の制度

法定外勞災 建設共済保険 補償制度

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120 - 913 - 931

URL: https://www.kyousaidan.or.jp/

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー